

デルフィニウム(シネンシス系)
Delphinium grandiflorum var.chinense
 (キンポウゲ科)

雄大な花穂をもつ1本立ちのエラータム系に対して、シネンシス系はスプレータイプで、1茎に3~4本の側枝をもつ。シネンシス系の小花にはデルフィニウム特有の距(きょ)がなく、すっきりした一重の品種が多い。葉は貧弱である。エラータム系と同様、STS前処理の効果が大きい。STSで処理をしていない場合は花卉が激しく落ちる。水あげは良いが、萎れやすい。
 日持ち終了の主な症状は、花卉の萎凋である。

1) 品質評価基準

項目	判定基準	備考
小花の萎凋	A: 張りがある B: 花卉がやや軟らかい C: 花卉が軟らかく、萎凋する D: 花卉が萎凋し、変色する	
開花程度	A: C, Dの小花がない B: 花穂基部の小花にBが認められる C: C, Dの小花が1/3程度 D: C, Dの小花が1/2以上	
その他	葉の褐変など	

2) 留意点

適正にSTSで前処理がされていると、花卉が落ちずに、萎凋後ドライフラワー状になる。
 側枝がからみやすいので、ていねいにはずしてから花びんに生ける。
 葉は貧弱で少ないので、評価の対象としては重視しない。

3) 開花



4) チェック事項

花卉の萎凋がはじまる



花卉がやや萎凋



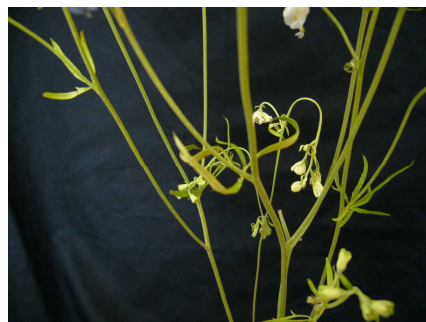
花卉が萎凋



花卉が変色



花卉の萎凋は軽微だが、雄ずいが枯死



葉は貧弱であり、
評価の対象にしなくてもよい